

ラオス人民民主共和国 在日大使 ヴィロード スンダーラ閣下 来村

10月18日(水) 東南アジアのインドシナ半島に位置する、ラオス人民民主共和国の在日本大使館の特命全権大使、ヴィロード スンダーラ閣下が来村されました。ヴィロード スンダーラ閣下は、青木村で行っている、青木村地域自然エネルギー研究協議会の取り組みを視察するとともに、協議会で製造した、水力と太陽光を組み合わせたハイブリッド発電システムをラオス国内で実証実験するため今回の来村となりました。自然エネルギーを通じて両国の友好関係が深くなるとともに、青木村の取り組みがラオスのエネルギー政策推進の力になることが期待されています。



青木村自然エネルギー発電システム 実証実験場 (リフレッシュパーク内) オープン

昨年度より取り組みを行っています、青木村地域自然エネルギー研究協議会ですが、本年2月道の駅あおき内「エネ空あおきタワー」に引き続き、小水力と太陽光を組み合わせた、ハイブリッド発電システム試作機(愛称)「ミライズ あおき」がこのほど完成し、オープニングセレモニーがヴィロード スンダーラ閣下来村の中行われました。「ミライズ あおき」の予測発電能力は、小水力発電が8.5kwh、太陽光発電が1.5kwhで、商品化・量産化に向けて実証実験をする中で更に改良化が進められます。

この発電システムの愛称は、「ミライズ あおき」と命名され、「未来」、「登る(ライズ)」、「水」の意味が込められており、今年2月「エネ空あおきタワー」の名称募集作品の1つです。命名者は、新潟市在住の松原一郎さんです。



ミライズあおき

水車

